

## 「間伐の推進と健全な森づくり」 の研修会を実施

三陸中部森林管理署

当署管内の釜石・大槌地区の森林は急峻で岩石地が多く林道等の基盤整備が進んでいないことから、間伐等の森林整備が遅れています。

そこで当地域ではほとんど実施されていらない列状による間伐の有効性と、スイングヤーダ等の高性能林業機械を組み合わせた作業仕組みについての普及を目的に、十一月二十日（木）、当署と釜石地方林業振興協議会の共催による「森林整備技術（列状間伐）研修会」を大槌町内・東金沢山国有林の保育間伐活用型請負箇所をフィールドに開催し、関係市町及び管内の林業事業者二十四名が参加しました。

まず最初に室内において、岩手県釜石地方振興局から管内民有林の森林資源の状況と列状間伐の県内の取組等について、三陸中部署からは国有林における列状間伐の



研修会に集まった関係者

取組と東北森林管理局作成の低コスト路網の考え方等の説明を行った後現地へ移動し、作業路に合わ



現地での低コスト路網の説明

せた列の配置とスイングヤーダによる集材、プロセッサの造材等を見学し、急傾斜地における集材・運材の効率化を図る作業仕組み等について意見交換を行い、今後も当地域の森林整備の推進のため、国有林のフィールドを活用して低コスト路網整備等に取り組んでいくことにしています。